

審査基準

評価項目	評価基準	配分点
1 事業内容及び 実施方法		50/100
事業内容及び方法の 妥当性・独創性	・事業の目的及び趣旨との整合性が取れているか。	5
	・バスツアーの企画・構成が若い世代（20～30代男女）にとって魅力ある提案となっているか。	30
	・コロナ対策として企画する非接触型のイベント等が土木の魅力発信が可能な提案となっているか。	10
	・事業内容・実施方法・実施時期に具体性があり、実現可能なものか。	5
2 事業の効果		40/100
波及効果	・広報業務（情報誌掲載やインターネットによる情報発信等）が、ターゲットに対して、しっかりと到達するものとなっているか。	40
3 事業実施主体の 適格性		10/100
業務遂行	・過去に類似業務の実績があるなど、業務の遂行に関して、実現性があるか。	5
	・業務の遂行にあたり、遅滞なく遂行が可能な人員の確保がなされているか。	5